



平成24年2月13日

各位

会社名 東海観光株式会社
代表者名 代表取締役社長 ホーン・チョン・タ
(コード：9704、東証第1部)
問合せ先 財務経理管掌取締役 宍戸 佐太郎
(TEL. 03-5488-1010)

平成23年12月期通期業績予想値との差異および特別損失の計上に関するお知らせ

平成23年8月12日に開示いたしました平成23年12月期(平成23年1月1日～平成23年12月31日)通期の業績予想値と本日開示の平成23年12月期通期の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 平成23年12月期通期連結業績予想値と実績値との差異
(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	1,827	△5	△12	△42	△0円15銭
今回修正(B)	1,792	△158	△290	△322	△1円33銭
増減額(B-A)	△34	△153	△278	△280	
増減率(%)	△1.9	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年12月期実績)	1,102	△203	△259	△772	△4円03銭

(参考) 平成23年12月期通期個別業績予想値と実績値との差異
(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	499	△214	△50	△42	△0円16銭
今回修正(B)	445	△283	△219	△220	△0円91銭
増減額(B-A)	△53	△69	△169	△178	
増減率(%)	△10.8	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年12月期実績)	495	△344	△297	△785	△4円09銭

2. 差異の理由および特別損失の計上について

(1) 差異の理由

平成 23 年 12 月期通期連結業績予想値と実績値との差異につきましては、売上高がほぼ予想通りに推移し、前年同期比 62.5%増となりましたが、営業利益は、宿泊事業拡大のための連結子会社化に伴う一時費用の計上等により前回予想を 153 百万円下回り 158 百万円の損失となりました。

経常利益につきましては、前述の営業損失の増加、円高の影響による為替差損 23 百万円の計上、及び豪州の持分法適用会社における先行投資による一時費用が嵩んだこと等から前回予想を 278 百万円下回り 290 百万円の損失となりました。

当期純利益につきましては、前述の経常損失の増加および後述の特別損失の計上により前回予想を 280 百万円下回り 322 百万円の損失となりました。

(2) 特別損失の内容

- ① 電話加入権について除却処理を行うため、特別損失に固定資産除却損 4 百万円を計上いたします。
- ② 予定される事務所移転に伴う費用として 4 百万円を計上いたします。

以上